

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|----------------------|-----|-------|------------------------|
| 事業名 1137 | 本館耐震補強事業 | 会計 | | 病院事業会計 |
| | | 款 | | 資本的支出 |
| | | 項 | | 建設改良費 |
| 基本 | 02 身近なところで高度な医療を提供する | 目 | | その他建設改良費 |
| 施策 | | 細目 | | |
| | | 細々目 | | |
| 行革大綱の重点事項番号 | | | | |
| 担当部課 | コード 250100 | 担当者 | 狩野 守正 | 連絡先 24 - 1111 (内線) 253 |
| | 名称 市民病院庶務課 | 氏名 | | |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 市民病院に来院する市民等(受診者等) | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | 耐震強度が確保され、地域災害拠点病院としての機能が維持でき適切な医療が受けられる。 | |
| 根拠法令・要綱等 | | |
| 開始年度 | 平成 21 年度 | 関連事業 |
| 終了年度 | 平成 23 年度 | |
| H22 事業内容 | * 耐震補強工事実施(建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、監理業務委託) | |
| 社会情勢の変化等 | 前年度までの経緯を踏まえ、平成23年1月20日から平成24年3月16日までの工期で工事に着手した。 | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|--------------|--------------|
| 1 建設用地 | 伊賀市四十九町831番地 |
| 2 建設面積(延床面積) | 11,817.07㎡ |
| 3 規模・構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 4 総事業費 | 294,426 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|-----------|----|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | |
| 2 配置人員 | 人 |
| 3 年間運営費 | 千円 |
| 4 市内の類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | | | H21 | H22 | H23 | H24 |
| | | 人 | 目標 | 実績 | | |
| | | 回 | 目標 | 実績 | | |

| 成果指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|------|---------|----------|----|---------------|----------------|-----|-----|
| | | | | H21 | H22 | H23 | H24 |
| | 耐震工事進捗率 | 工事進捗率 | % | 目標 40 実績 0 | 目標 50 実績 20 | 100 | 0 |

| 投入コスト | 直接事業費計(A) | H21 決算 | H22 決算 | H23 当初予算 | H24 当初要求 |
|--------|--------------|--------|--------|----------|----------|
| | | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) |
| | | 1,392 | 70,790 | 315,963 | |
| Aの財源内訳 | 国庫支出金 | | | | |
| | 県支出金 | | 1,748 | 103,129 | |
| | 地方債 | | 69,000 | 212,800 | |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般財源 | 1,392 | 42 | 34 | 0 |
| | 事業投入人件費(B) | 0.1人 | 720 | 0.1人 | 720 |
| | フルコスト(A)+(B) | 2,112 | 71,510 | 318,123 | 0 |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) |
|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 | |
| | 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | ○ |
| | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 | |
| | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 | |
| | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを担いきれず、これを補完する事業 | ○ |
| | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | ○ |
| | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 | |
| | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 | |
| | 民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | ○ |
| | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | ○ |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 | | |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | | |
| 財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業 | | |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | | |
| 有効性 | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 | ○ |
| | 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 | ○ |
| | サービス水準や対象を見直す余地がある。 | |
| 達成度 | 当初設定した計画を 60%未満 実施している。 | 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 |
| | 予算の繰越の有無 有 | 工事担当部署との意思疎通を緊密にし、情報の共有化を図り工事の進捗をはかる。 |
| | 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】 繰越明許費 | |
| 効果性 | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 | |
| | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 | |
| | 【事業名】 | |
| | 受益者負担を求めることができる事業である。 | |
| | 全体コストにおける負担構成は適正である。 | ○ |
| | コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

| | |
|----------|--|
| 改善策 | 平成23年度内に耐震補強工事を完了し、地域災害拠点病院として市民が求める安心・安全な医療を提供する。 |
| 昨年度の評価結果 | 【状況】 計画のとおり進んでいる |
| 昨年度の取組状況 | 【詳細】 諸般の事情により平成21年度は工事発注ができなかったが、平成22年度中に発注が出来て、年度末に20%の工事進捗率となった。 |

今後の方向性(Action)

| | |
|------------------------------|---|
| 担当課長氏名 | 狩野 守正 |
| 事業の方向性 | 【方向性】 現状維持 |
| | 【理由】 地域の中核病院として、市民に安心、安全な医療を提供していくことが求められており、また、その使命を果たしていくためには耐震基準を満たしていることが必要である。 |
| 現時点における課題、その他 | 耐震補強工事を実施することにより、本館躯体の耐震性能は向上するが、建物自体の耐用年数が延びるわけではない。本館建設から33年が経過し、配管等設備が相当老朽化してきており耐震補強工事施工時に支障を起こさない手立てが必要となる。また、事業費は、補助金と起債によることによる起債償還年限は建物の耐用年数内に限られるため毎年の償還額が大きくなり病院事業経営の負担となる。 |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | この耐震工事により入院が制限され、経営が非常に苦しい状況である。新病院の建設が課題解決の糸口であるが、平成27年度までの向こう5年間で単年度赤字を解消し、十分な医師・看護師を確保して救急医療について市民の信頼を回復した後に、新病院建設について検討する。 |